

常任委員会の審査から

12月7日、8日に各常任委員会に付託された議案の審査、9日に請願の審査が行われ、主な内容を各常任委員長が要約しています。

文教福祉

子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

子ども医療費の無料化年齢を15歳末まで引き上げることに伴い、拡大施行までの準備はどのようにするのかとの問いに、1月から3月に市ホームページや市広報紙を通じて市民の方々への周知を行い、4月には子ども医療費電算システム改修を経た後、新たに登録手続きが必要となる小・中学生のいる家庭に対し、申請書等を発送し、順次受付を行う。6月中には新たな資格証を発送し、7月からご利用いただくことになる。拡大に際し必要とされる事務費の見込みはとの問いに、おおよそ700万円程度見込んでいるとのこと。県内の実施状況はとの問いに、県内市で実施しているのが8市、平成22年度以降の拡大を予定しているのが5市であり、近隣市では越谷市及び三郷市が本年10月より15歳末までの拡大を実施しているとのこと。拡大が見込まれる児童・生徒数はとの問

いに、小・中学生6千524人が新たに対象となり、全体で1万1千365人を見込んでいるとの答弁。

賛成全員で可決。

一般会計補正予算

健康福祉部所管分では生活保護費が増えている特徴として、傷病や若い方の受給が多くなっているとのことであるが、医療費の中身としてどんなところが増えているのかの問いに、高額医療の方が増えている。前年度との比較で年間100万円以上の高額医療を受診されている方が6人から7人増えており、これに伴い全体の医療費も上がっているとのこと。生活保護受給者の年齢や家族構成の分析についての問いに、世帯類型として5つの分類を行っている。平成22年12月1日現在の世帯類型でみると、「高齢者世帯」が102世帯、「母子世帯」が21世帯、「障害者世帯」が21世帯、「傷病者世帯」が55世帯、以上4つの世帯に該当しない「その他の世帯」が40世帯であるとの答弁。

賛成全員で可決。

文教福祉視察レポート

市立小学校訪問

11月10日

今回訪問した学校は、午前中に中曽根小、関小、午後には北谷小、旭小の4校でした。訪問したそれぞれの学校長から、学校の様子などを細かに説明いただき、また要望等について参加した委員（5名）と意見交換をさせていただきました。

浦安市千鳥学校給食センター

12月20日

今回の視察は、当市の第一学校給食センターが老朽化し早期の建て替えが望まれていることから、安全でおいしい学校給食の提供を目指して、PFI方式で整備運営されている浦安市千鳥学校給食センターを委員13名（総務水道・文教福祉常任委員会合同）で視察してきました。整備事業導入までの経緯、取り組みの中での検証、評価、そして今後への課

しました。



電子黒板を活用！（旭小）

題等を説明いただきました。



千鳥学校給食センター調理室

